

港中だより

伊勢市立港中学校 No.25

R4. 1. 13

校長 金森 晃生

新年あけましておめでとうございます 今年もよろしく願いいたします

1月6日（木）に、港中の令和4年が始まりました。冬休み中に、大きな事故やけがもなく、元気にスタートを切ることができました。しかし、年が明け、世界、日本でコロナウイルスへの感染が急速に拡大しています。これまで同様、検温、マスクの着用、手洗い、黙食などの感染症予防対策が必要です。特に3年生にとっては、自分の進路選択を行う上で、大切な時期を迎えます。進路だよりにもあったように、コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者に指定されたりすると、場合によっては、県立高校の前期選抜は受検できなくなることもあります。ぜひ、3年生だけでなく、学校全体で一人ひとりが感染症予防対策を徹底してください。

6日の集会で、みなさんに冬休みの振り返りをしました。「充実した休みを過ごした人」という問いかけに、20人ほどの人が手を挙げてくれました。本当はもっといたのだと思いますが、この数字だけでみると、ずいぶん残念な結果だと思えます。特に3年生は、自分で決めた計画通りに学習を進めないといけない休みではなかったかと思えます。ただ、充実というのは、勉強をたくさん行ったということだけではありません。勉強も含め、部活動や家の手伝いや趣味など、自分が立てた目標を達成できたり、やりたいことができたりすることが充実につながります。もう一つ「今年目標を立てた人」の問いかけには30人程度の人が手を挙げました。これもたいへん少ないです。目標を立てることによって、何をすべきかがはっきりし、すべきことをやれば毎日が充実します。何となく過ごすのではなく、限られた時間を有効に使い、中学校の生活を有意義に過ごしてください。目標がまだの人は、早く自分の目標を持ってください。

9日に伊勢市の「新成人の集い」が開催され、私は中学校の校長として、出席しました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大の中、昨年同様「新成人の集い」は、新成人を出身中学校別に3部に分け、密を避けての開催でした。集いの中で、実行委員の方からも、会話を控えることなど、会場での感染症対策について注意と協力の呼びかけがありました。集いが始まると、最初はざわざわしていましたが、新成人の誓いの言葉や市長のあいさつの間は私語もなく、静かに式が進行されました。各中学校の思い出のスライドの時には、わずかながら歓声もありました。全体的には、大変厳かな雰囲気でした。私は伊勢の若者はなんとすばらしいのだろう、と感心しました。そして、「新成人の門出を市として祝福する」ことを最優先にして、式の開催に至るまでの多くの方の努力に頭が下がる思い、と同時に、その努力に報いるように、安全、安心な

「新成人の集い」を作り上げた新成人を素晴らしいと思います。式の中でも私は感心した出来事がありました。実行委員の方が「思い出のスライドや式典の冊子（中学校の校舎や先生の写真や言葉などが掲載されたもの）は私たち実行委員で作成しました。…」と紹介したとき、感染症予防対策としてはよくないことですが、誰かが「ありがとう」と声をかけました。その後2、3人が続いて「ありがとう」と言った場面がありました。声を出した以外の人も、実行委員の方々の

企画や準備などに感謝した人がたくさんいたと思います。声を出したことは置いておいて、このように感謝の気持ちを持つことができた新成人のみなさんを、私は大変うれしく思います。中学生のみなさんも、毎日の積み重ねが、自分自身を大切にすることができ、成長していくのだと思います。新成人のみなさんにとっては、何気ないことですが、きっと、この式典での経験はこれからの社会を支えてくれる力になるのだらうと頼もしく思いました。

さあ、新しい年がスタートしました。何かが大きく変わることはないかもしれませんが、でも、一人ひとりの経験は着実に増えていきます。3年生は義務教育修了まで、中学校を卒業するまであとわずかです。これからはそれぞれが進路選択をし、人生の目標に向けて新たに旅立つ時を迎えます。今できることを、焦らず、自信を持って、粘り強く取り組んでください。1, 2年生のみなさんも、今できること、やらなければならないことを積極的に取り組んでください。私は集会で「今年は挑戦」という目標を立てたと話しました。ぜひ皆さんも、目標達成に向けて日々、努力しましょう。

今年も私たちは感染症に打ち勝ち、思いやりの心を持って、人との距離は離れても（ソーシャルディスタンス）心は密にし、健康で安心して笑顔あふれる毎日が送れることを願っています。みなさんのさらなる活躍を期待しています。

スピーチ発表



6日の集会で、2年生の梅林莉子さんが英語でスピーチを行いました。毎年、伊勢市が主催し、中学生が英語でスピーチするコンテストが開催され、今年度も港中の代表として、梅林さんが8月に参加してくれました。港中では文化祭で発表してもらう予定にしていたのですが、休校等の影響で今になってしまいました。発表に合わせて、体育館には日本語の訳も表示しました。みなさんは、梅林さんの流暢な英語を、日本語を見ずに、リスニングでわかりましたか。そして、発音だけでなく、内容の素晴らしさ（小説を創る楽しさ。日本の言葉の大切さ。自由な発想で自分の世界が創れること。など）も理解できましたか。みなさんも、英語でスピーチできるか挑戦してみてください。

各自で手洗いキャンペーン

今年度も、保健委員会が、感染症予防対策の一環として「手洗いキャンペーン」に取り組んでいます。手洗いの徹底と、ハンカチを持っているかを確認し、感染症予防対策の意識を高めてもらう取り組みです。現在、感染症が急増しています。今はキャンペーン中ではありませんが、一人ひとりができる予防ですので、各自で手洗い、ハンカチ等の持参を意識してください。

～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、また各ご家庭で検温、マスクの着用、ハンカチの持参等、感染症予防対策につきましても引き続きご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。現在、感染症が急速に拡大しています。三重県でも「感染拡大阻止宣言」を発出し、県民への感染症予防を促しています。学校としても、これから入学試験や卒業式などをひかえ、できる限りの予防策を考えていきたいと思っております。そのために、保護者のみなさまにも引き続き、感染症予防対策にご協力をお願いすることもあります。よろしくお願ひいたします。

また、先日から「学校アンケート」にご協力いただきありがとうございます。みなさまのご意見を真摯に受け止めさせていただき、今後の学校経営に生かしたいと思っております。後日、内容を集約し、港中だよりで報告させていただきます。